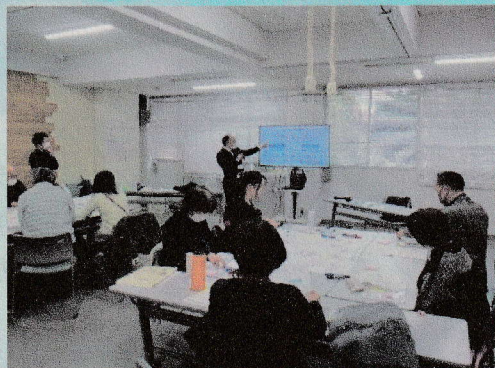


協働のまちづくりコーディネーター育成講座

地域の「旗振り役」を育成し、多様な主体との協働について考える



協働推進課では、地域主体のまちづくりを推進するため、1月から2月にかけて全4回の『協働のまちづくりコーディネーター育成講座』を開催しました。

本講座は、地域課題を共有し、自治会をはじめ、企業、学校などをつなぎながら、協働による地域課題の解決を進める「コーディネーター」を育成することを目的に実施したものです。

参加した受講者の皆さんは、講義やワークショップを通じて、地域活動に必要な知識やコーディネート手法について学びました。今後、地域活動の担い手や「旗振り役」として、それぞれの地域での活躍が期待されます。

協働推進課では今後も、こうした学びの機会を通じて、住民の皆さんが主体となった地域活動や、多様な主体との協働によるまちづくりを支援してまいります。

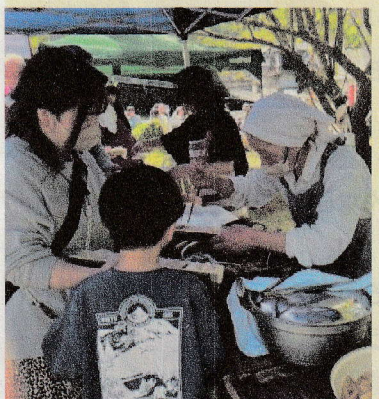
地域活動とあつ活サポーター

中道地区 七覚自治会

たけのこ祭り



▲地域で採れたたけのこは好評



▲お子様からご年配の方まで楽しめるイベントとなりました

中道地区の七覚自治会では、『たけのこ祭り』が開催され、会場では、たけのこの販売や試食会のほか、地元で採れた新鮮な野菜や山菜の販売が行われ、多くの来場者で賑わいました。

七覚自治会では、耕作放棄地の活用に取り組んでおり、今回提供されたたけのこは、その活動の中で整備した竹林から収穫されたものです。地域課題への取組が、地域資源の活用や地域交流の創出につながるなど、地域主体によるまちづくりが実践されています。

また、運営には「たけのこ倶楽部」をはじめ、消防団や女性部など様々な団体が参加し、世代を超えた協力のもと開催されました。様々な団体が連携することで、地域のつながりが深まり、次世代へ伝統文化の継承にもつながる機会となりました。

石田地区 自治会連合会

石田お俵連 桜まつり



▲あつ活サポーター団体によるアニマルセラピーの様子

石田地区自治会連合会主催による恒例行事『石田お俵連桜まつり』が開催されました。会場には多くの屋台やキッチンカーが並び、家族連れをはじめ幅広い世代の地域住民で賑わいました。

また、あつ活サポーター団体である「すみよし生活支援センター」が昨年に続きアニマルセラピーを実施しました。

会場は、セラピードックとして活躍する「マルコくん」と来場者とのふれあいにより、温かな雰囲気包まれ、癒しの時間となりました。

地域イベントに様々な団体が参加することで、お祭りの魅力や賑わいがより一層高まるとともに、世代を超えた交流や支え合いの輪が生まれました。

あつ活サポーターの利用申込はこちら



『あつ活サポーター団体登録制度』のご利用を受け付けております。持続可能な自治会運営を行えるよう、本制度をご活用ください。



詳しくは協働支援センターまでお問い合わせいただくかホームページをご覧ください ▲